

有楽町駅～新橋駅間の歴史ある高架下を  
2020年初夏、新たな商業空間として再生します

- JR東日本グループでは、グループ経営ビジョン「変革 2027」のもと、「ヒトを起点とした新たなサービスの創造」に取り組んでおり、「CITY UP!」をスローガンに、高架下スペースの再生を図る計画を推進しております。
- 日比谷・銀座エリアに残された歴史ある煉瓦アーチ高架橋と高架下の大空間が、街と繋がる賑わい溢れる場所に生まれ変わります。



【300mの高架下が作り出す通路】



【煉瓦アーチ高架橋】

※現時点の計画であり、今後変更となる場合があります。画像はすべてイメージです。

## 1. 開発計画について

本計画は100年以上の歴史を刻む煉瓦アーチ高架橋と東海道線、東海道新幹線の高架橋が一体となって生まれた高架下スペースを活かし、新たな商業空間として再生するプロジェクトです。

新しい街づくりが進む日比谷の奥に位置する本高架下は、銀座・有楽町・新橋に回遊を生み、個性豊かなこだわりの店舗が集積することで、街と人、人と人を繋ぐ賑わい溢れる場所を目指します。

### ●有楽町と新橋を繋ぐ高架下通路を整備

連続した高架柱が特徴の300mに及ぶ通路を整備し、日比谷側へ5か所の出入り口を設けることで、街に開かれた高架下として新たな回遊性を創出します。

### ●1910年に作られた煉瓦アーチ高架橋の美化

明治建造当初の煉瓦を活かし、次の100年も街のシンボルとなるように美化・整備をします。



【完成当初の煉瓦アーチ高架橋】

出典：鐵道院東京改良事務所「東京市街高架鉄道建築概要」  
：鐵道院東京改良事務所（1914）

●個性溢れるこだわりのお店が出店

様々なスタイルのバーと上質な食体験を提供するお店が集まり大人のナイトタイムを楽しめるゾーン、新しい食の楽しみ方を提案しつつ高架下らしく気軽に通えるバラエティ豊富な飲食ゾーン、新しいスイーツや自分の時間を過ごせるカフェ、技術や素材にこだわりをもった雑貨・ファッションゾーンなど、約 50 店舗が出店する商業空間が誕生します。

2. 開発エリア名称について

開発エリア名称を「日比谷 OKUROJI (ヒビヤ オクロジ)」に決定しました。

銀座・日比谷の「奥」という立地に、「路地」という施設性を加えることで密かな穴場感を醸成。深いこだわりと 100 年の歴史が潜む場を表現しました。

〈位置図〉



〈計画概要 (予定)〉

所在地	東京都千代田区内幸町一丁目7番
開発規模	約 7,200 m <sup>2</sup> 、約 50 店舗
交通	J R 山手線、京浜東北線「有楽町駅」徒歩 6 分 J R 山手線、京浜東北線、東海道線、横須賀線、ゆりかもめ「新橋駅」徒歩 6 分 東京メトロ日比谷線、千代田線、都営地下鉄三田線「日比谷駅」徒歩 6 分 東京メトロ丸の内線、日比谷線、銀座線「銀座駅」徒歩 6 分
開業予定	2020 年初夏

【お問い合わせ先】

株式会社ジェイアール東日本都市開発 開発調査部 (大場・橋都)

TEL : 03-5334-1097 mail : hibiya-okuroji@jrtdc.co.jp